

長崎市新たな文化施設基本計画（骨子案）

1 めざす姿と3つの役割（令和元年7月策定の基本構想より）

芸術文化と平和を世界と共有する

市民が芸術文化を楽しみ、芸術文化あふれる暮らしの喜びを体感するとともに、長崎で創られた芸術文化を世界へ発信し、世界の芸術文化が交わる場所をめざします。

また、文化芸術基本法の考え方にあるように、芸術文化は人々の心のつながりや、お互いのことを理解しあい、尊重しあう土壌を提供し、多様性を受け入れる心豊かな社会をつくるものであり、世界平和につながることを、長崎で共有し、世界へ広げていくことをめざします。

魅せる・触れる

鑑賞の場として、人々を魅了する芸術性と専門性の高い優れた芸術文化の公演や、市民が創り上げた作品など、多様な演目の公演を楽しむことができる場所にします。

創る・発信する

市民の芸術文化活動や創作活動を支え、海外とつながり、育んできた文化的資源を磨くとともに、長崎らしい芸術文化を創造・発信できる場所にします。

つながる・育む

誰もがいつでも立ち寄ることができる開かれた空間とし、芸術文化を通して人が集い・つながり、世代や分野を超えた交流を育む場所にします。まちとつながり、賑わいを生み、人とまちを育む場所にします。

2 建設予定地

新たな文化施設は、現市庁舎本館跡地に建設予定です。



3 まちの中での施設の役割・期待される効果

【建設予定地 位置図】



建設予定地は、歴史的な文化や伝統に培われた地域であることに加え、都市機能が集積し、公共交通機関による利便性がよい中心市街地に位置していることから、日常的に市民や観光客等が行き交う場所と言えます。

この場所の特性も活かし、新たな文化施設が、誰もが芸術文化や人と出会い、つながり、芸術文化を広げていく場所となることで、めざす姿と3つの役割を果たします。

そのために、市民や観光客等の回遊性の向上や賑わいの創出に繋がるよう、新たな文化施設と周辺の桜町駐車場や桜町近隣公園を歩道橋やエレベーター等でつなぎ面的整備を図るとともに、長崎駅方面から新たな文化施設を経由して新市庁舎等に至る動線をバリアフリーに配慮したものとすることを検討します。

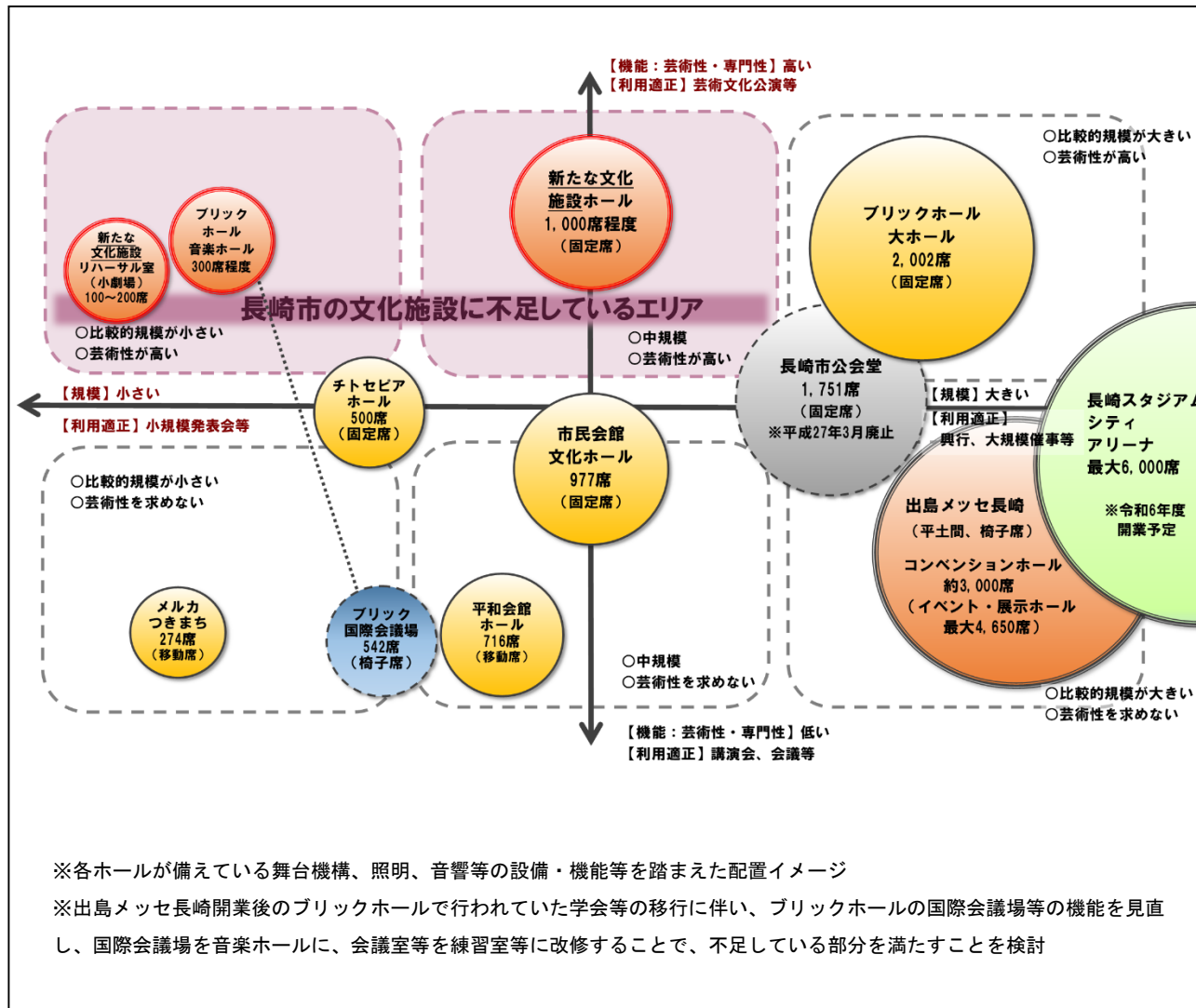
また、災害時の帰宅困難者（観光客等）の一時滞在場所や、災害物資の集積・配送拠点等としての防災機能を備えることも併せて検討します。

<施設の配置計画における検討事項>

- ・最も大きな建築面積が必要となるホールの配置を最優先することを検討
- ・敷地形状等を踏まえ、ホールは市役所西側広場側に寄せて配置することを検討
- ・人の動線（観客、施設利用者、出演者・主催者、管理者等）と物の動線（舞台、リハーサル室への搬出入、ごみの搬出など）を考慮しながら施設配置を検討
- ・市役所通り側及び桜町電停側の両方からのアクセスを可能とすることを検討
- ・市役所通り側と桜町電停側双方からの容易な往来を勘案したエレベーター等の整備によるバリアフリー対策を講じることを検討

4 機能と規模の考え方

【市内ホールの機能と規模の配置イメージ】



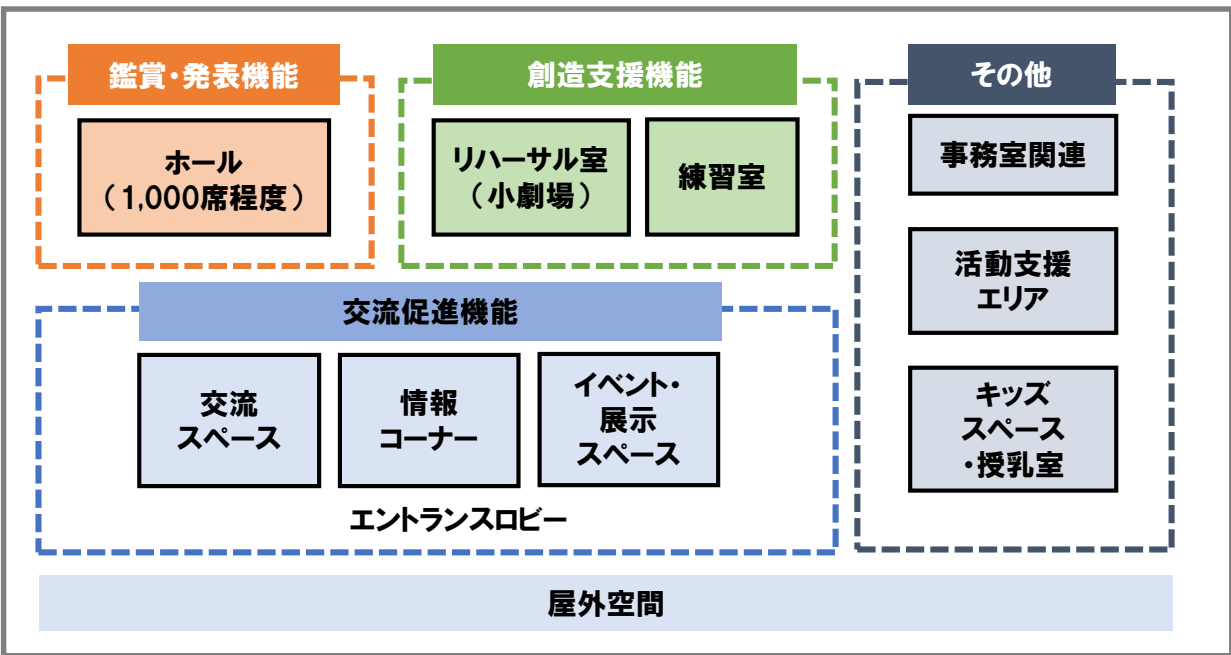
【市内ホールの主な利用内容（想定含む）】

<p>ブリックホール音楽ホール（300席程度）（想定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小規模なクラシックコンサート等の音楽公演の発表・鑑賞 ※国際会議場の改修後 	<p>市民会館文化ホール（977席）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学校等の中規模催事 ●県内規模の大会、式典や講演会 	<p>ブリックホール大ホール（2,002席）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●興行コンサート ●出演団体等が多い大規模な芸術文化催事の発表・鑑賞
<p>チトセピアホール（500席）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小規模な芸術文化催事の発表・鑑賞 ●近隣学校等の小規模催事 	<p>新たな文化施設（1,000席程度）（想定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●舞踊、商業演劇、ミュージカル等、中規模の芸術文化催事の発表・鑑賞 ●小劇場での演劇等の公演 	<p>スタジアムシティ・アリーナ（最大6,000席）（想定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●興行コンサート（クラシック等を除く） ※芸術文化利用の場合
<p>メルカつきまち市民プラザホール（274席）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●行政・企業説明会、展示会の開催 	<p>平和会館ホール（716席）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被爆体験講話などの平和学習 ●舞踊等の芸術文化活動の練習 	<p>出島メッセコンベンションホール（3,000席程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国際・全国規模の学会、大会、展示会の開催

- ① 市内ホールの状況等を踏まえ、市内ホール全体の機能と規模のバランスが図られ、稼働状況が平準化できるよう、また、見切れ席が少なくホール全体が見えやすい席となり、より満足度の高い鑑賞条件を備えたホール整備が可能となるよう、新たな文化施設の座席数は1,000席程度とする。
- ② 小規模の演劇公演等に対応できる規模と機能を持つ公演会場としても利用できるよう、新たな文化施設には、小劇場機能を持つリハーサル室を整備する。
- ③ 少人数で利用できる練習室のニーズがあり、またリハーサル室を公演会場として利用する際には楽屋としても利用できるよう、新たな文化施設に楽屋としても利用できる小規模の練習室を整備する。
- ④ ミニコンサートやイベントの開催、展示等が可能で、市民や観光客が交流できるスペースを新たな文化施設のエントランスに整備する。

5 施設計画の検討

【施設機能】



【施設構成】

機能		主要諸室等
鑑賞・発表	客席	1,000席程度の客席、親子室 等
	ホワイエ	ホワイエ、コインロッカー、備品庫、トイレ 等
	舞台	プロセニウム形式、オーケストラピット、舞台、奈落、花道、迫 等
	楽屋	大・中・小楽屋、スタッフ控室、楽屋トイレ、楽屋倉庫 等
	搬入口	搬入ヤード、搬入用エレベーター 等
	倉庫	大道具倉庫、ピアノ庫、照明・音響器具庫 等
創造支援	練習室	小練習室
	リハーサル室 (小劇場機能)	リハーサル室、倉庫、スタッフ控室 等
交流促進	エントランスロビー	交流スペース、情報コーナー、イベント・展示スペース 等
	屋外空間	屋外広場 等
その他機能	事務室等	管理事務室、スタッフルーム、監視室、キッズスペース・授乳室、守衛室、防災関連備品庫 等
	共有部	廊下、トイレ、エレベーター 等
	機械室	機械室

6 施設整備にあたって考慮すべき事項

- ユニバーサルデザイン・バリアフリーへの対応
 - すべての人に開かれた施設とするため、ユニバーサルデザインや、近隣施設との連結を含めたバリアフリーなどに対応することを想定
 - 誰もが芸術文化に等しく触れることができ、気軽に訪れ、安心して利用できる施設
- 環境や持続可能性に配慮した施設計画
 - 持続可能な開発目標「SDGs」を踏まえ、時代の大きな流れの中で変わることなく必要とされる機能を満たした施設とすることを想定
 - 省エネや再エネを活用した環境にやさしい施設
 - 運営コスト等の様々な負荷を低く抑えられる効率的な方法を検討
- 災害に対する備えを強固にし、安全を確保できる施設
 - 市民や観光客などを安全に守ることができる施設
 - 施設自体に防災機能を整え、災害に強い施設
 - 災害時は市民や観光客などをサポートできる機能を備えた施設
- 最新の技術や設備による利便性と質の向上
 - ホールで必要とされる設備等の利便性や効率性ととも、映像や通信技術分野の進化スピードも考慮したうえでの更新等も視野に入れた将来的な技術進化にも柔軟に対応できる施設・設備
- 新たな生活様式等に適合した施設
 - 新たな感染症や、芸術文化を取りまく状況の変化にも対応することを想定した施設

7 管理運営計画に関する考え方

基本構想でとりまとめためざす姿と3つの役割等を踏まえ、施設を管理・運営するための組織体制の構築やルール等のしくみづくり並びに施設の運営を効率的かつ効果的に行うための詳細について検討

8 整備スケジュール（今後の予定を含む）

時期	事項
平成30～令和元年度	基本構想策定
令和2～4年度	基本計画策定
令和4年度	測量、土質調査
令和4～6年度	管理運営計画策定
令和5年度～	現市庁舎本館解体工事、基本設計・実施設計、埋蔵文化財記録保存調査、建設工事